

木は1年に1回果実をつけ、それを収穫したあとは、長い冬を越えて再び翌年実をつけます。その実を確実に収穫して、次の収穫に備える準備をし、翌年再び実を収穫するという意味で「金のなる木」と名づけました。
【3~5年で資金3倍化を目指して】

(ご案内) レポートの名称が長期投資から資産形成に変わりました。内容の変更はございません

7/8(水)の時点で日米の主要指数はすべて売転換
... どこで買うかタイミングを待つところ ...

<前号(第13号)での予測ポイントとその後の動き>

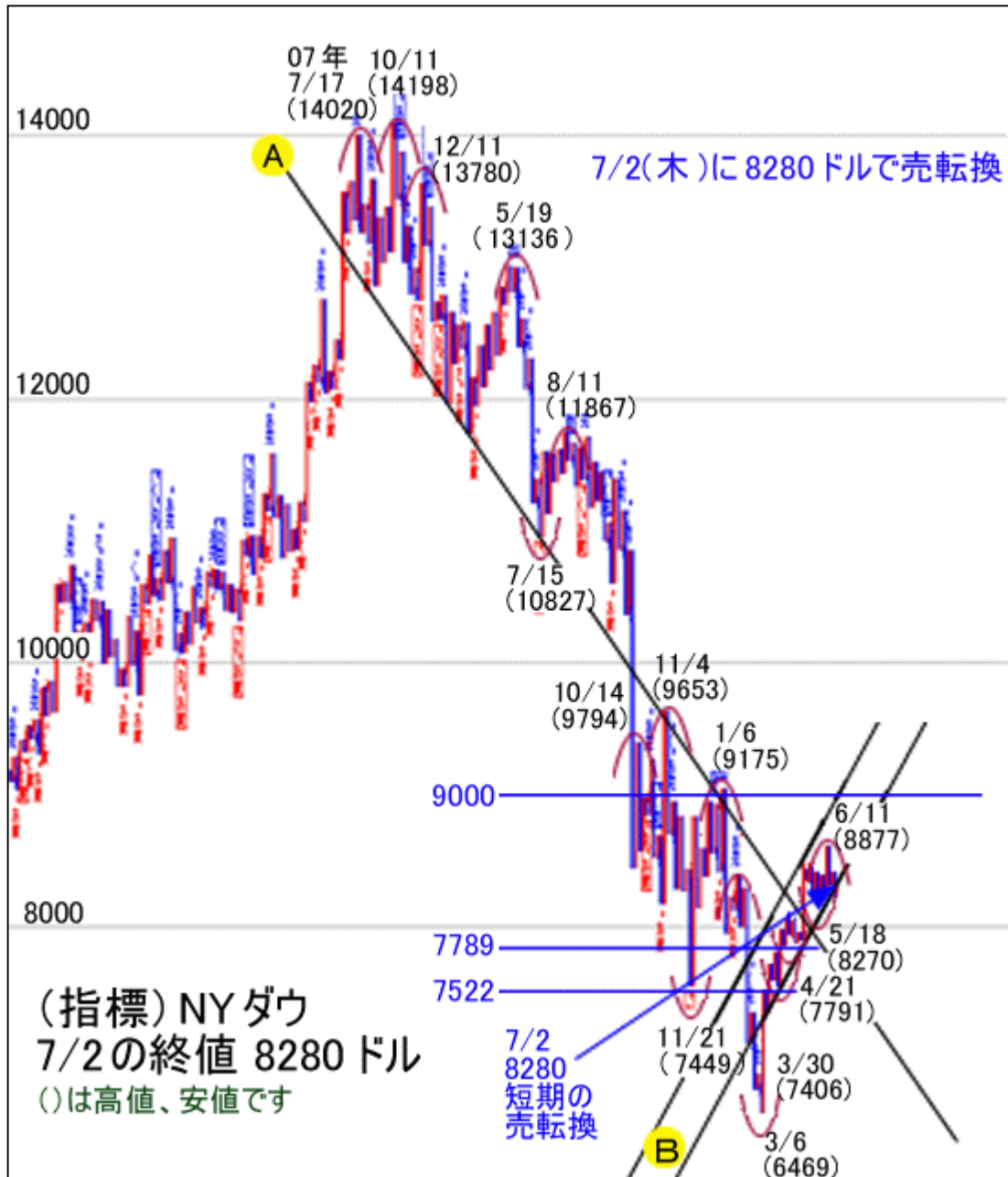
7/2(第13号)のポイントとしては、SQ(7/10)に向けて下落すれば買い準備としSQ1週前のオプションの攻防からは上ブレ下ブレの2つのパターンを考え、それは7/2(木)のアメリカの雇用統計がカギを握るとしました。私の見方としては主力株の調整が中途半端なため調整がはいるとみており、特にNYダウの8300ドル割れが実現すれば大きな調整を想定していました。本来、今週はオプションの有利不利が明確(ややコール有利)になっていなかったことで9500円~10000円の中で上下動したあと、本格調整は来週になると考えていました。しかし、7/2(木)のアメリカの雇用統計が予測より悪化したことで、NYダウは223ドルの8280ドルとなって8300ドルを切ると同時に柴田罫線で下げる確率の高い売転換が出現しました。そして、今週になってNYダウが7/7(火)に161ドルの8163ドルと一段安となり、ナスダックも41Pの1746Pと売転換が出現し、為替も94円台の円高となったことで7/8(水)の日本市場は日経平均が227円の9420円と売転換が出現して9500円を割り、トピックスも20Pの888Pと売転換し、これで日米の主要指数は全て売転換となりました。9500円水準と9000円水準での買いを考えていましたが、早くも昨日の終値は129円の9291円と9300円を切りました。NYダウの下値ポイント(7800ドル)まで下げるとすれば日経平均は9000円を守れるかどうかとなります。この水準からじっくり買っていけばよいと思われます。

本日は、アメリカ株式の小幅続伸を受けて47円の9338円で寄り付きましたが、9370円までしか上昇できずに9265円まであって大引けは3円の9287円となりました。SQは通過しましたが、SQ値9386円より100円ほど安く終わりましたので来週は下値確認の動きにはいっていく可能性が高いといえます。5/18の安値8997円を終値で守れるかがポイントとなります。NYダウ次第では9000円を割る場面も想定されますが、9000円水準では買っていくところです。但し、もう一段下を想定して2回ぐらいに分けて買うのがよいでしょう。

来週号でこれまでの銘柄の買いポイントを、日経平均 9000 円水準を前提に修正しますが、来週初めにも買いチャンスがこないとも限りませんので 6 銘柄ほど出しておきます。

最初の銘柄 推奨日	コード 銘柄	本日の 終 値	買ポイント	短期売買の方の 当面の利食い ポイント	コメント
12/4 号	6369 トヨタカネツ	188	180 ~ 188 円前後 170 円前後	220 ~ 240 円	日本のタンクメーカー。世界の原油 需要の回復傾向
1/22 号	4208 宇部興産	255	240 ~ 250 円前後 230 円前後	290 円前後 320 ~ 350 円	リチウムイオン電池 ナイロン繊維や樹脂原料となるカブ ロラクタムの世界的メーカー
1/22 号	5805 昭和電線 HD	109	100 円台 90 円台	130 ~ 140 円	スマートグリッド関連として電線株の 人気化 (通信や IT 技術を駆使して送電線を 高機能化し、効率よく供給管理す る)
2/5 号	8002 丸紅	385	380 円前後 360 ~ 370 円	430 ~ 450 円	中国関連。 景気回復関連。
2/5 号	5981 東京製網	282	250 ~ 270 円台 230 円前後	300 ~ 330 円	太陽電池向け切断装置。公共投資 関連
2/5 号	7011 三菱重工	351	340 ~ 350 円前後 310 ~ 330 円	380 ~ 400 円	新エネルギー関連。 (太陽電池、風力発電、原子力な ど)

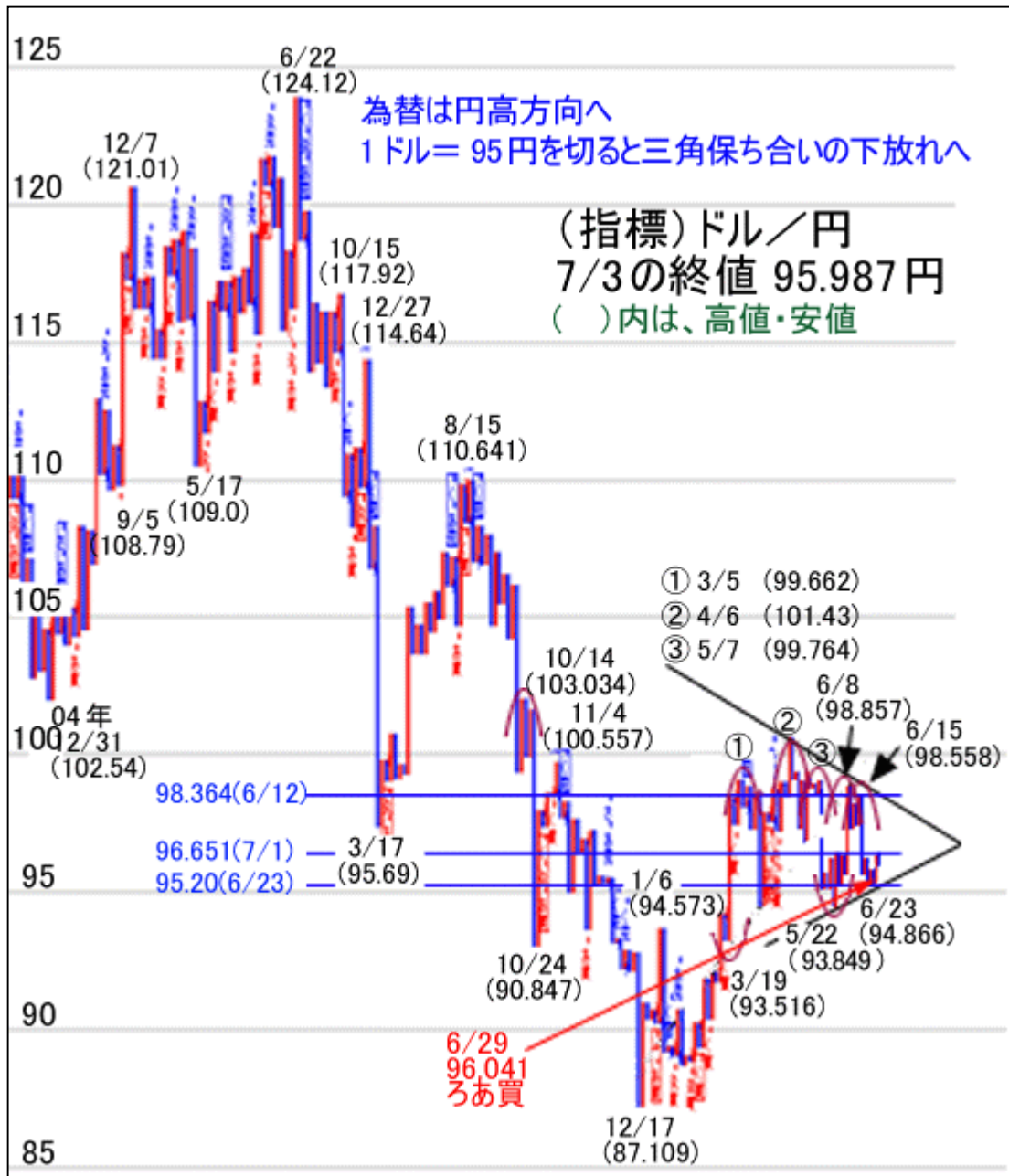
NY ダウ



6/25(木)の一言メッセージで、NYダウの8300ドルは要注意としてきましたが、前日(6/24)のNYダウは23ドルの8299.86ドルとなり、これは8300ドルを切ったというより8300ドルと同値で引けたとみとしました。そうであれば、5/27の終値8300ドルに対してダブル底のような形となって目先は反発するとしました。しかし、その場合は、戻りを試したあと、再び8300ドルを切ってくるとより大きな下落となる確率が高いとしていました。その後の動きをみると、7/1(水)に8580ドルまであって終値では57ドルの8504ドルとなり、週末の7/2(木)は223ドルの8280ドルとなって売転換出現となりました。7/3(金)はアメリカ市場は休場のためこれが週の終値となります。ナスダックはまだ売転換となっておらずマチマチの動きですが、このNYダウの売転換の形はかなり確立が高いもので、上昇トレンド(B)も下に切っていることから、目先の下値である75日移動平均線の8238ドル(先週末の時点)近辺では、少し反発がなくても8000ドルを割る動きとなり8000ドルを切ると7800ドル水準、最大で7500ドル台も想定されるところです。

[7/6(月)の出島投資ワールドより抜粋]

ドル/円



先週の予測としては、ドル売り圧力が強い形であるが終値で97円以上になると、この売り圧力がいったん消えるがそうでなければ、再び5/22の93.849円を試す動きとなってくるとしました。それまでの間は95円～96円台の小幅のもみあいが続くことになるともしました。4/6の1ドル=101.43円の高値をつけた以降の動きをみると、この101.43円を高値とし、5/22の93.849円を安値とする三角保ち合いの形となっており、徐々に煮詰っている形といえます。それは下値サポートラインの近辺での動きですので確率的には、ドルの下放れ(円高)という方向になりそうです。先週は、6/29に96.041円でいったんろあ買が出現しましたが、97円台にのせることができず、週末は95.987円で終わりました。95円を切ってくると5/22の93.849円を試す動きとなります。

〔7/6(月)の出島投資ワールドより抜粋〕
結果7/8(水)には1ドル=92円台まではいりました。

日経平均



7/6(月)の分析では、今週はオプション特有の週ですので、NYダウが大きく下がらない限り 9500 円 ~ 10000 円のボックスの中での上下動となって、為替も円高にフレてきたこともあり、その後、下値を試すとしていました。9000 円水準が大きなフシですので、ここまでの下げを期待して待つともしました。

そのカギを握る NYダウが先週末 8280 ドルとなって 8300 ドルを切って売転換が出現し、これは確率の高い売転換だが目先は 8200 ドル台の 75 日線で多少反発して、それから 8000 ドルを目指すとしていました。7/6(月)に 44 ドルの 8324 ドルと小反発したものの 1 日しかもたず昨日は 161 ドルの 8163 ドルとなり、ナスダックも 41 P の 1746 P となって 2 度目の売転換が出現しました。これを受けて本日の日経平均は 98 円の 9548 円で寄り付いたあと、9500 円を割り、後場には 9407 円まであって大引けは 9420 円となりました。SQ 特有の動きで、コールが売られる形となりました。9420 円水準はオプションのフシですのでこれを切ると 9200 円台がはいるところですが、本日は下げ止まっています。目先 NYダウが反発すれば再び 9500 円 ~ 10000 円のボックス圏に戻ることにになりますが、SQ 通過後の来週からは 9000 円を試す動きとなる可能性が高くなりました。楽に儲かる今年 2 回目の買いチャンスとなります。

[7/8(水)の出島投資ワールドより抜粋]